

# 『会社法判例 40！』

---

(学部生・20代・S.O)

会社法については、知識が身につけている分野と理解が及んでいない分野の差が激しく、苦手分野を克服したいと考えていたところ、この本を知り興味を抱きました。私は本書を苦手な分野の克服のため、該当分野の判例を抜き出して読むという使い方をしていきます。

本書は会社法初学者を対象としたものではありませんが、ある程度学習が進み自分の苦手な分野がどこか分かってきた方にとってもかなり有用であると感じます。一般的な判例集は、最低限の知識があることを前提とした解説が多いですが、本書は基本的な会社法の設計や原理原則、当該判例の論点抽出まで丁寧に記載しており、基礎知識の確認や自分の理解の誤りを発見するのに役立ちました。判例数が絞られているため、網羅性には欠けますが、その分それぞれの判例の解説が丁寧で、また複数の利害関係人が絡む判例などではそれらを整理した図も載せられているので、とても良い印象でした。参考文献の記載がほとんどないため、より深く調べる際には、各自で基本書等を探さなければいけない点には多少注意が必要かもしれません。全体を通して、平易な文で書かれているため、基本の確認にはとてもおススメの判例集だと思います。

『法学教室』2020年4月号(No.475)掲載「Reader's Voice」より